

# 病虫害発生予察指導情報

## (ナシ黒星病)

平成28年4月1日

鳥取県病虫害防除所

### 1 情報の内容

向こう1か月の気象予報では、平均気温は高く、降水量は平年並または多い確率と予想されており、ナシ黒星病の発生を助長する条件となっています。生育状況に合わせ、防除時期を失しないように、開花始め、人工授粉終了後の防除を徹底しましょう。

### 2 情報の根拠

- (1) ナシ園における越冬病芽調査の結果（平成28年2月10日付、病虫害発生予察指導情報）、腋花芽の病芽率は2.2%で、平年（病芽率：1.2%）及び前年（病芽率：1.6%）に比べやや高かった。また、昨年秋期における発生量がやや多かったことから、越冬伝染源となる罹病落葉もやや多いと見込まれる。
- (2) 県予察ほ場では、黒星病の分生子の飛散がみられている。
- (3) 向こう1か月の気象予報では、平均気温は高く、降水量は平年並または多い確率と予想されており、本病に好適な気象条件と見込まれる。

### 3 防除上注意すべき事項

- (1) ナシの生育が早まっているため、防除時期を失しないように注意する。
- (2) 各地域の防除暦に従い、開花初め、人工授粉終了後の防除を徹底する。
- (3) 黒星病の芽基部病斑は、見つけ次第花そうごと切除し、園外に持ち出して処分する。